

平成28年8月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成28年8月24日(水)

II. 開会及び閉会  
開会 13時00分  
閉会 14時22分

III. 出席委員

教 育 長	柴 崎 伸 次
委 員	淵 本 晴 生
委 員	水 野 勝 紀
委 員	川 島 ゆ か
委 員	片 山 工

IV. 出席職員

職 名	氏 名
教 育 次 長	近 成 昌 行
総務学務課長	青 山 祐 志
総務学務課参事	松 田 典 久
社会教育課長	馬 場 昌 一
中央公民館長	今 吉 崇 文
総務学務課課長補佐	井 上 二 三 代
総務学務課係長	近 藤 の ぞ み

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

柴崎教育長

- 都市教育長協議会(7/22)について
- 市教育支援活動運営委員会(8/4)について
- 岡山県議会文教委員会の市民図書館視察(8/17)について
- 図書館の状況(6~7月、開館51日間)について
- スポーツ大会での子どもの活躍について
- 平成28年度優良PTA文部科学大臣表彰について

3. 前回会議録の承認

署名委員 淵本 晴生 委員 水野 勝紀 委員

4. 議 事

柴崎教育長 議事進行

柴崎教育長 第 40 号議案については個人情報ということで、非公開とすることを提案する。

全 委 員 <異議なし>

第 38 号議案 臨時職員の採用等について

青山課長 (資料を基に説明)

全 委 員 <異議なし>

第 39 号議案 瀬戸内市立小中学校文書取扱規程の制定について

松田参事 (資料を基に説明)

片山委員 幼稚園の場合はどうなっているのか。

松田参事 幼稚園の場合は、市の文書規程に基づいて行っている。

全 委 員 <異議なし>

柴崎教育長 非公開審議を開始することを宣する。

第 40 号議案 準要保護児童生徒の認定について

< 非公開 >

柴崎教育長 非公開審議を終了することを宣する。

第 41 号議案 平成 27 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告について (継続)

青山課長 (資料を基に説明)

水野委員 11 ページ「安全で栄養バランスのよい学校給食の提供」のところ、最初はAだったのが、地場産物の使用頻度が減っているということでBになっていたのが、またAに変わっているのはどういうことか。

柴崎教育長 パーセンテージではなく、品目で比較した時に 15 から 19 に増えている。そういった観点で、率というよりも地場産物を使っているというこ

とで、従来と同じ評価にさせていただいている。

水野委員 先月の教育委員会議で、学校給食は安心安全で安定が大事だということで、地場産物はダメだという感じで、教育委員会が地産地消にどっぷり係わるのは適切かどうかわからないということであったが、学校給食における地産地消は、やはり教育委員会が関わっていかないといけないのではないか。

柴崎教育長 教育委員会が関与する時に、食材の安定的供給、流通ルート過程に関しては、なかなか困難なところが出てくると思うので、どっぷり係わるというのはどうかと思っているということをおっしゃっていただいた。

水野委員 どっぷり係わるのが適正なのかどうかというのは、何かやる気がないような感じがする。もっとどっぷり係わってほしいと思う。

柴崎教育長 調理場単位では協議会には入っていただいている。

水野委員 時期的なものがあるので、一年を通してはなかなか難しいと思うが、ある時期には、しっかり地場産物を活用していただきたいと思う。

川島委員 栄養教諭の先生は、地場産物の活用については、工夫して取り入れやすいように知恵を使ってくださっているのだから、それがやりやすい環境づくりをお願いしたい。

淵本委員 5 ページのところで、幼稚園教育の研究のテーマが「遊びこむ幼児の育成」とあるが、「遊びこむ」という表現は一般的ではないし、あまり使わない言葉である。それを幼稚園教育の中で使っているということの意味をしっかりと考えていただき、研究を深めていただきたい。

それから、共通支援シートという言葉があるが、引き継ぎシート、支援シートという言葉も出てくる。同じページだけでなく、関連のあるページにも出てくるので、このあたりの言葉の使い分けはきちんとされたほうが良い。やはり違うものは違うできちんと定義すべきであり、同じものなら同じ用語に統一すべきであると思う。用語を考えるとということの中身を考えるとということになるので、そのあたりはきちんとしていただきたい。

それから、6 ページの今後の方向性のところに「生徒指導については、別の項目を立てて施策の充実を図る」と書いてあるが、これは 13 ページとはまた違って、生徒指導の項を立てるということなのか。

それから、13 ページの内容全般が分かりにくい。どういう問題を生徒指導の諸問題としてとらえているのかということが、少しぼんやりしている。生徒指導の諸問題の中身のとらえ方と、取組の概要、課題、今後の方向性にあげられていることの整理がきちんとなされていないように思われるので、表現をもう少し考えていただきたい。

片山委員 7 ページの課題のところで、今までは「図書館司書が 2 名不足」という表現が、今度は兼務という表現に変わっているが、兼務という状況は

できるだけ解消していけるように努力をお願いしたい。

近成次長 毎年、専任を配置するための予算要求はしているが、現状維持で持ちこたえている状況である。今後も粘り強く要求していきたいと思う。

柴崎教育長 淵本委員が言われた「遊びこむ」という言葉については、今後出てくることがあれば、注意していきたいと思う。

それから、「共通支援シート」については統一する。5ページの取組の概要のところの保健福祉部との連携の部分については、わかりやすい表現に修正させていただく。

それから、点検評価シートも施策自体が来年から変わるので、構成も変えていく必要があると思う。実際には学力向上とか生徒指導のための充実というのは一本の柱になるので、そこで分解をしてこちらへ作るようになると思う。

青山課長 今後については、8月議会で総務文教委員会に報告し、委員に完成したものを配布させていただき、ホームページに掲載する予定である。

全委員 <異議なし>

第42号議案 平成28年度8月補正予算案について

青山課長 (資料を基に説明)

馬場課長 (資料を基に説明)

水野委員 ストレスチェックの関係は組み換えということであるが、マイナスとプラスが合わないのはなぜか。

青山課長 ストレスチェックと医師の面談、情報の管理料等が追加になっている。博物館のビデオは英語だけか。

水野委員 これはハード部分であるが、スイッチを切り替えることで英語とかフランス語とかできる形のものを作りたいと考えている。ソフト面については別の事業で考えていて、外国の映画の中に字幕スーパーが出るような形で、日本語でしゃべっているが、スイッチを押したら英語とか、フランス語の字幕が出るというようなものと考えている。

馬場課長 何ヶ国語出るのか。

水野委員 英語、フランス語、中国語の3種類だったと思う。

馬場課長 観光面の地方創生関係の100%補助の事業で実施する予定である。

近成次長 観光のソフトしか活用できない事業と、教育委員会のハードしか活用できない事業を合体させて、有効活用するということである。

全委員 <異議なし>

5. その他

松田参事

(1学期を終えた時点での学校の状況について説明)

6. 閉 会 (14時22分閉会)